

みんなで
語る
私たちの
未来。



まちを
つくる
私の
アイデア。

2019



中高生から 社会へ 10の提言



鹿児島の中高生が社会人や大学生たちと語り合い考えた
この夏の2日間の記録

Our future we talked with!!



中高生子どもMTGとは

次代を担う中学生・高校生の皆さん。

これから光り輝く皆さんに

鹿児島島の“今”を見て知って、

多様な大人達の話聞くことを通して、

鹿児島島の“未来”や

自分の“将来”について

考えるきっかけになる事を望んでいます。

グラウンドルール



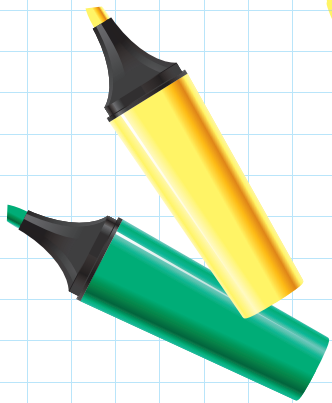
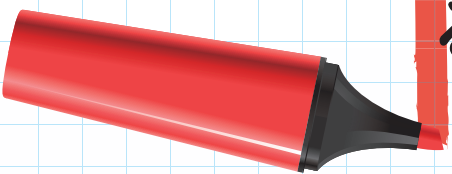
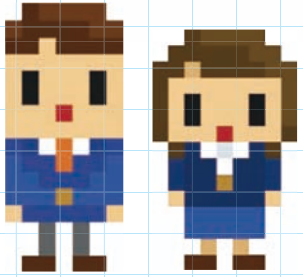
2日間を過ごす上で
自分たちが発言しやすい・考えやすい
雰囲気を作るために決めた3つのルール。

① 否定しない。

② 自分で考える。

③ それぞれ自分の中でのルールを決める。

中高生ミーティングを過ごす2日間、
① 否定しない ② 自分で考える 以外で、
自分たちが発言しやすい・考えやすい
雰囲気を作るために何が必要か。
自分が大切だと思うルールを決める。





1日目

未来を描く

鹿児島で暮らす外国人との
交流や講話を通して、
私たちが出来ることを考える。



中高生ミーティング
について



鹿児島市
国際交流財団
からの講話



ゲストとの交流



学びや気付き
テーマの共有



1日目終了

- 09:30 ~ 受付
- 10:00 ~ 鹿児島市
市民協働課
からの挨拶
- 10:05 ~
- 10:10 ~ アイスブレイク
- 11:15 ~
- 11:30 ~ ゲスト出身国の
基本情報について
- 12:00 ~ 昼食
- 13:05 ~ 外国人
ゲスト講話
- 14:10 ~
- 15:15 ~ 1日の学びや
気付きをまとめて
考えるテーマを
決めよう
- 16:15 ~
- 17:10 ~ 今日の感想
- 17:45





2日目

提言・宣言作成

1日目に考えたことをまとめ、
提言・宣言を作成し、発表。



受付 09:00 ~

アイスブレイク

09:30 ~



宿題共有

10:00 ~

10:30 ~

提言、宣言書の作成



昼食 12:00 ~

15:45 ~

提言と宣言を発表



16:45 ~

各自の感想



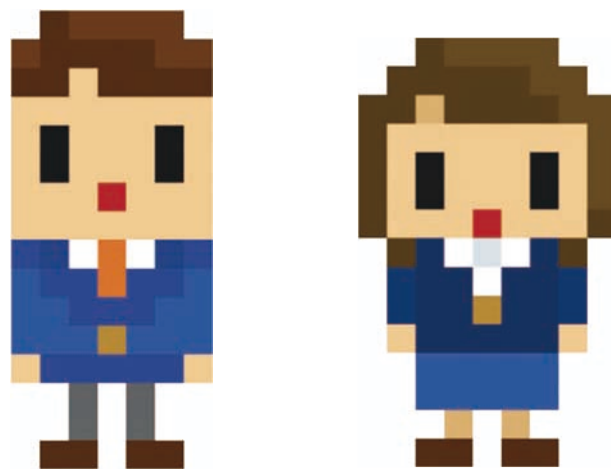
ミーティング終了
解散 17:45




この2日間の体験から
私たちが考えた
提言・宣言を発表します！

テーマ

外国人・鹿児島人
みんなが暮らしやすい
まちづくりについて



わたしの提言

10 

提言

様々な施設において、館内アナウンスを多言語化するここと、観光客の目に付きやすいところにも多言語による表示を行う。

宣言

様々な言語を話せる人と一緒にアカウントを共有しインスタグラムで外国人向けに鹿児島島の魅力を発信したい。

今の現状として、鹿児島島に観光客として来た外国人が買い物をする際に店内で放送される日本語のアナウンスが理解できないということがあります。そのことで、買いたいものが買えなくなる現状を改善したいです。提言の効果としては、接客の対応が丁寧という事が口コミで広がり、お店に通う人が増えたり購買力が高まったりします。インスタグラムは中高生をはじめ、世界で影響力のあるアプリです。実際に私もインスタグラムのアカウントを作って、投稿する時に、星で評価をして伝えることで外国人にも分かると思います。携帯ひとつで鹿児島島の魅力が発信できると思います。



高校3年生(女子)

現状は①市電やJRの便が少なく、外国人は日本の車の免許を持っていないので不便。②ごみが多く分別ができていない。③アルバイトの平均時給が低い。課題として、交通手段が少ない、ごみの分別ができていない、時給をあげてほしい。このようなことがわかりました。提言の効果は、交通の便が多いと鹿児島島に住む人みんなが落ち着いて移動でき、トラブルに巻き込まれることが減ると思う。ゴミ箱の設置を増やし分別の写真を載せることで、分別がわかりやすくなってポイ捨てが減ると思う。アルバイトの給料を上げることで働き甲斐を感じ仕事を積極的にする人が増えると思う。



高校3年生(女子)

提言

- ① JRや市電の便数を増やす。
- ② まちなかにゴミ箱の設置を増やしてゴミの分別方法を写真で示す。
- ③ アルバイトの時給を見直す。

宣言

ごみのポイ捨ては代わりに捨ててあげる、困っている人がいたら声をかけてあげる。

提言

- ① アミュプラザやマルヤガーデンズなどのショッピングモールでの館内アナウンスを多言語化する。
- ② 博物館や、その他の観光名所を含めて、資料説明等に多言語対応の音声ガイドを取り入れる。

宣言

- ① 外国人と積極的にコミュニケーションをとる。
- ② 他県で行われている実現可能な取組みについて調べる。
- ③ 外国人の支援を行っている団体の活動を調べ、ポスター・パンフレット・SNS等を使い、市内を中心に広めていく。

ゲスト講話で、商業施設の館内放送に外国語が無い、博物館等で題名・作品名以外の紹介や説明が日本語しかないなどの話を聞きこれらを解決したいと思いました。外国人の方は観光生活面において言葉が分からないことで居心地の悪さや孤独感等のストレスを感じると思います。このようなストレスを感じると鹿児島を楽しませません。私は大分県の臼杵磨崖仏郡の音声ガイドの取り組みを調べました。ここでは6つの言語に対応した音声ガイドを使用し、言語や聞きたいスピードなど個人の要望に応え、観光ガイドの人手不足解消にもなっていました。これを導入して外国人にとって不自由のない環境にすることで鹿児島にまた来たいと感じてもらい、観光客が増えて街の活性化にも繋がると思います。



中学1年生(女子)

提言

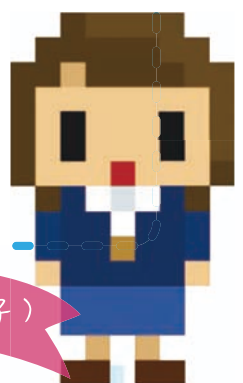
天文館やアミュ等で館内放送が日本語しかなく、閉店時間や免税サービスの対応時間が外国人の方に伝わらず、不便に感じているということが分かりました。また、チラシ等にサービスについて書かれていても全員がそれを見ているとは限らないので、アナウンスが必要だと私は思いました。都会では、「おもてなしガイド」という、館内アナウンスを翻訳できるアプリを使っているところもあります。鹿児島市では市電しか使われていないため、他の施設でも使うことが出来ると思います。だけでなく様々な言語で聞くことが出来ると思います。アナウンスを多言語化することで店に訪れる外国人もその店で行っているサービスを知ることができ、市内に住む外国人や、鹿児島を訪れるリピーターも増えることに繋がります。

宣言

- ① 様々な施設での館内アナウンスを多言語化する。
- ② 日本語のアナウンスを多言語に翻訳できるアプリを作る。

宣言

英語や中国語が話せなくても、ジェスチャーで伝えることができるので、自分から話しかけてみたい。自分も多言語を学ぶために交流会やイベントに参加したり企画したい。



高校3年生(女子)

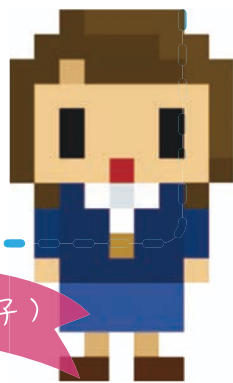
提言

まちなかにある看板について、
外国語表記を増やしたり写真や絵を
取り入れたりして
誰が見ても分かるように工夫する。

宣言

自分から外国の方とコミュニケーションを
積極的にとっていききたい。

ゲストの話聞いて価値観の違い
に気づきました。私たちが普段当たり
前だと思って生活してきたことが海外
の人たちにはそうではないかもしれないことです。
私は万人が楽しく過ごせる鹿児島を作っていきたいと
思いました。看板の表記が日本語しかなかったり、日本
独特の地図記号も外国人にとっては意味が分からない
ということも知ったので、それらを誰でもわかるように改
善して、外国人にも優しい鹿児島をつくってほしいです。
誰が見ても視覚的にわかるということはとても重要だと
思います。今回のミーティングを通してコミュニケーション
ンって必要なんだということを改めて感じたので、自分
から積極的にできるようになりたいなと思いました。



高校1年生(女子)

提言

様々な国の文化の違いを理解できるような
イベントを開催する。
(鹿児島市には協力をお願いしたい)

今、外国人も日本人もお互いの
文化を知らないと思います。例えば
日本と中国ではファーストフード店
で食べ終わった後の片付けを自分でする・しないのマナー
の違いがあつて、食後そのままにしていた中国の方は、マ
ナー違反だ！と言われたことがあつたそうです。このよ
うな文化の違いを解消するために、中高生や大学生、
JICAの方や鹿児島在住の外国人の方にスタッフにな
ってほしい、イベントを開催したいです。鹿児島市には
後援をお願いします。開催時期は暑すぎず寒すぎなくて
観光客も多い10月がいいと思います。鹿児島を知って文
化に触れたいという外国人の想いと、鹿児島の良さを伝
え外国人と仲良くなりたいたいという鹿児島人の想いがリ
ンクすれば共生に繋がると思います。



高校3年生(女子)

宣言

私にしかできないイベントをします。
私にしかできない考え方で、私しか持つて
いない人脈で開催したいと思います。
イベントは1回きりで終わるのではなくて、
外国人と鹿児島人が今後もずっと続くような
繋がりを実現したいです。

提言

在住外国人がお互いの国の魅力や現状を伝えあう意見交換の場を作る。

宣言

様々なイベントに参加して多くの人々と交流する。人脈をつくって広げてそこからイベントに参加する人を増やしたい。

サンデーさんからハンガリーについての講話を聞いたときに日本と共通点が多いなと思いました。そのことがあまり知られていないことに驚きました。在住外国人の悩みは、①リラククスが出来ない②同じ文化同士で気軽にコミュニケーションが取れない③ずっと日本語で母国語が喋れないので緊張が続いたり、日本に受け入れてもらっているか、自分たちの文化は理解されているのかという不安がある。ということをゲストの方が話していました。私は母国語で気軽に会話できる空間をつくりたいなと思っています。交流会にするか、カフェのような空間をつくるのか。互いに興味を持ってもらい、知識を取り込みそれを交換し合ってお互いにまち・国づくりをしていけるのではないかと思います。



高校3年生(女子)

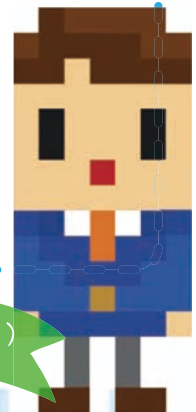
提言

ごみのマナーを外国人に伝えるようなポスターやリーフレットなどを作成する。

宣言

まちの掃除ボランティアに参加し友達などに参加を呼び掛けること、個人でゴミ拾いをする。

鹿児島島の現状は観光客のマナーが悪いことでマナーを守っているみんなが暮らしにくいこと、他の国や都市との関係が少ないことです。それを踏まえての課題は、外国人に上手く日本のマナーを伝えられないことです。外国人観光客に日本のマナーを伝えるためにポスター、リーフレット、ステッカーを多言語でつくるのが良いと思います。リーフレットの例は「YASSEEN」。「YASSEEN」とは、ダメだという意味です。リーフレットを作れば鹿児島島の自然の美しさが世界に伝えられ、これからの時代にも自然が残ると思います。



中学1年生(男子)

提言

参加費がかからず気軽に足を運べるような、在住外国人同士が交流するコミュニティの場を作る。

宣言

情報を集めて積極的に外国人が集まる場に参加します。

留学生が異国の地で生活する中で言葉も通じず一人で何もかも抱え込んでしまう現状を知って、楽しく日本生活を送ってほしいと思いました。今鹿児島に住んでいる外国人は生活の中で言語の壁により孤独感を感じ、また、故郷の料理が手軽に食べられず寂しさを感じてしまいます。さらに、その気持ちを共有できず故郷に帰りたいなど精神的に辛い気持ちになります。実際に鹿児島在住の外国人が交流する場はありますが、参加費が1回四千元と高かったり、企業の社長さんや偉い人が多く堅い雰囲気に参加しづらいそうです。気軽に足を運べるようなコミュニティの場があれば日常の近況報告や、悩みを話したり世間話・情報交換をすることができると思います。そうすると心が軽くなって日本生活が快適でもっと楽しくなると思います。



高校1年生(女子)

鹿児島市国際交流財団が開催しているイベントに参加できる人は、外国人も鹿児島人も数が限られていると思うので、交流・触れ合いの出来る場をもっと増やす必要があると思います。それは小学校やあいご会などで開催すると良いと思います。そのような場を設けることで

- ① 外国人・鹿児島人がお互いをもっと知る事が出来る
- ② 地域のひととの触れ合いで鹿児島の暮らしを知ってもらえる
- ③ 小学校やあいご会で開催することで、今、外国人とあまり接点がない方にも興味をもってもらえるようになると思います。

提言

鹿児島に住んでいる外国人が、地域の子どもから高齢者まで幅広い年齢層の人々と触れ合える場を増やす。

宣言

1. 外国人と地域の方が触れ合える場に参加する。
 2. 鹿児島を国際化するリーダーを目指す。
 3. 地域でどのようなイベントを開催するか提案をする。
- ① 体育祭などで町内会対抗別の競技を考える。
 - ② 季節のイベントを地域で開催する。
 - ③ ランチ会や夕食会を家で開催する。



高校2年生(女子)

Voices of participants

中高生ミーティング
参加者の声
こえ

最初、自分やっていけるのかなーって思ったけど、いろんな人がサポートしてくださって本当に楽しい二日間になりました。

自分が思っていることや考えたことを、みんなしっかりと相手に伝えられていたことがすごく良かったと思います。これを糧にしてみなさんも今後がんばっていきましょう。僕も頑張ります。

2日間ともお昼からの参加であんまり皆さんと話やなかつたけど全体として自分が満足できる提言ができたと思います。

2日間通して、みんなの顔つきが変わったなって全体を見て思いました。今回の経験をぜひ生かして、またこの縁が、ずっと続くことを僕は期待しています。二日間お疲れ様でした。

鹿児島について今まで真剣に考えたことがなかったけど、この2日間考えることができました。これまで2つのテーマについて、改善策とか自分のしたい事とかを深く考える機会があまりなかったの、濃い2日間になったと思います。

みんながたくさん反応をしてくれたり一生懸命まとも作業をしてくれたりしてとても助かりました。

最後の発表で私は失敗をして後悔をしています。でもこんなに楽しく考える時間ってあるんだなと思いました。いい経験になったなと思います。来年も参加したいです。

2日間通して

緊張していたけど、制作や面白い雑談とか楽しかったです。またこういう機会があったらいいなと思います。

昨日も今日も、濃い一日だなぁって感じました。自分自身の勉強にもなって、負けてられないなっていう思いになりました。二日間お疲れ様でした。

中高生のみんなが参加する姿勢を見て、すごく感動しました。みんなが考えてくれた提言・宣言を忘れずにこれからも生活していきましょう。

最初私が一番年下で、すごい不安だったけど皆たくさん話しかけてくれたりしてとても嬉しかったです。また来年も参加できたらいいなと思います。

私も凄く不安でしたが、この2日間皆と出会えて本当に良かったし、みんなと一緒に国際交流っていう海外と鹿児島をつながりについて考えることができて、本当に良かったです。

最後の発表、本当に緊張しました。発表では日本語が変になったところもあつたけど失敗しないで言いたいことは言えたので良かったです。

2日間とても緊張したけど、なんか良い経験ができたなって改めて感じました。

2日間通して私自身もすごく鹿児島のことを考えることができました。ここに集まっている人は、本当に鹿児島のことを真剣に考えて鹿児島のことを大好きなんだなあとということが伝わってきました。すごく良い充実した二日間を過ごすことができました。

参加者紹介



高校3年生 下釜 佑里佳

参加してくれた、
中高生の皆さん！
この2日間、鹿児島のみちづくりについて、
真剣に学び考えてくれました。



高校3年生 岩切 陽南



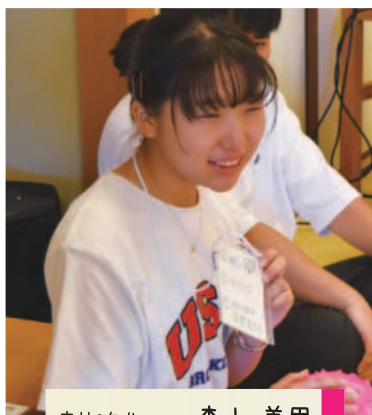
中学1年生 玉井 優花



高校3年生 江口 愛華



高校1年生 谷口 和香奈



高校3年生 森山 美里



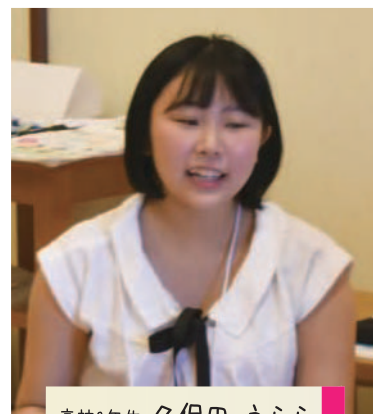
高校3年生 有川 璃華



中学1年生 善福 泰成



高校1年生 牛島 菜々子



高校2年生 久保田 うらら



社会人ゲスト 紹介

中

高生の皆さんと触れ合い、お話をさせてもらって皆さんの我がまちへの真剣な想い、好奇心、期待感、自身の夢など私自身が気付かされたり、学ぶことが多く刺激を受けました。「鹿児島の未来を頼んだぞ!」という気持ちになり、ワクワクしました。



ハンガリー出身 リポーター
国際ジャーナリスト
サンデイさん



ベトナム出身 国際大学院生
アントウさん



中国出身 国際大学院生
王一帆さん



鹿児島市国際交流財団
八木さん

2

日間のこの時間は僕らにも
かけがえのないものでした。ありがとう!



スタッフ 紹介



鹿児島大学
後藤 宏太(ごっちゃん)



鹿児島国際大学
坂ノ上 将大(しょーた)



志学館大学
森口 大巨(もりりん)



鹿児島大学卒業生
鶴田 光咲(つるちゃん)



鹿児島大学
平田 竜暉(どらちゃん)



国際大学卒業生
森屋 春香(もーりー)



鹿児島国際大学
上荒磯 太一(たいち)



志学館大学
岡元 里桜(さくら)

鹿児島市役所の想い

この子どもミーティングは、次代を担う子ども達が、鹿児島市のまちづくりについて、夢やアイデアを出し合い、意見交換を行い、その意見を市政運営の参考とすることで、若い世代の市民参画の推進を図ることを目的とした取り組みで、平成二十二年度から始まりました。

今回は、訪日する外国人観光客の増加や入管法の改正による外国人材受け入れの拡大、鹿児島島の国際交流の推進拠点施設となる国際交流センター(仮)の整備など、これまで以上に外国人とのコミュニケーションの機会が増加することが予想されます。そういった背景から、今回、「外国人・鹿児島人みんなが暮らしやすいまちづくり」というテーマを設け、本市がより魅力的なまちになるような具体的なアイデアを提言として考えてもらいました。子どもたちは、それぞれ自分が本市にとって課題だと思うことを見つけ、それらを解決するためにはどうすれば良いか、自身の将来も含めて共に考えることで、普段の学校生活ではあまりできない経験ができたのではないかと思います。

今回、ゲストとして参加し、子どもたちに母国と日本の違い、来日して困ったことや改善してもらいたいところなどを教えて頂いた外国人の皆さんや、サポートしてくれた大学生との楽しく、そして真剣な対話の場は、まちの未来や自分自身の将来について深く考えるきっかけになったものと思います。また、「ここで感じたことや得られたことを胸に、これからもちづくりや地域活動に積極的に参加してほしいと思います。」

本市としても中高生の想いをしっかりと受けとめ、協働によるまちづくりを二層推進していきたいと考えています。



令和元年度 鹿児島市子どもミーティング開催事業

名称：かごしま「まちづくり」中高生ミーティング

目的：若い世代の市民参画を推進するとともに、

その意見を市政運営の参考にしていくこと。

対象：公募により参加の、鹿児島市内在住、

または鹿児島市内に通学する中高生

参加者：中高生 十名

(男子・女子内訳) 男子一名 女子九名

(中学・高校内訳) 中学二名 高校八名

日時：

【一日目】七月二十四日(水) 十時〇〇分～十七時四五分

鹿児島で暮らす様々な人との交流や講話を通して
私たちが出来ることを考える

【二日目】七月二十五日(木) 九時三〇分～十七時四五分

考えたことをまとめ

社会への「提言と宣言」を発表

場所：鹿児島市勤労者交流センターよかセンター七階
講師：コーディネーター：

永田 沙織 (株式会社プロコワス)

永山 冬美華 (株式会社プロコワス)

【主 催】鹿児島市市民協働課

【実施・運営】株式会社プロコワス



